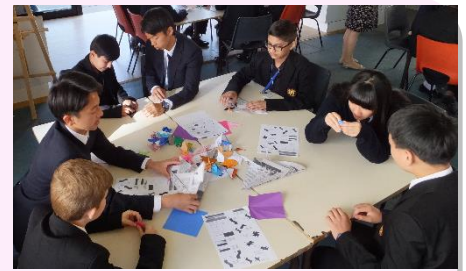


Japanese Day 5月15日(火) 16日(水)

現地校の生徒に日本文化を紹介する Japanese Day。本校と交流のある Burnham Grammar School の12歳の生徒が両日で合計135名が来校し、浴衣の着付け、茶道、書道、日本語、折り紙、お好み焼きと盛りだくさんの日本文化に触れました。鳥の唐揚げと照り焼きサーモンのランチを食べた後は、日本紹介プレゼンテーションをしました。この日のために2,3年生は英会話の授業で、日本の各地、企業、車、温泉、まんが、アイドル、食べ物、女子高生、音楽、スポーツ、ゲームなど幅広いトピックについてプレゼンの準備に励んできました。一年生のまだ英会話が苦手な生徒も笑顔で一生懸命交流を取ろうとしたり、サッカーを通じて交流をしたり、微笑ましい光景がたくさん見られました。イギリスにいるからこそ出来る日本大使の仕事を皆頑張ってくれました。Burnham Grammar School の生徒は一年に一回のこの帝京学園訪問を非常に楽しみにしているそうです。この子供たちが更に日本に興味を持ってくれるようになったことは間違いありません。(久保)



旅行作文コンテスト

学年毎の研修旅行を題材にした作文コンテストを行いました。どの生徒も旅での経験、出会った景色や芸術作品を表現豊かに描写してくれました。その作文は教員全員が審査を行い、上位者は1学期末の終業式で表彰をします。各学年で1冊の文集にまとめましたので、保護者の方も体育祭その他で学園にお立ち寄りの際にはぜひご覧ください。(谷地館)

「私の答え」 1年

★ 私はコーンウォールへの旅行で大切な事に気付きました。そのきっかけはイギリスらしい気候の中訪れた、ストーンヘンジでした。誰か特別な人が作ったということで有名なわけではない、意図的に作られたかさえも分からないストーンヘンジ。しかし、だからこそ惹き込まれるものがそこにはありました。じっと見ていると、私達に訴えているものは一体何だろうかと深く考えてしまいます。けれど、きくとそれに決まった答えはないと思いました。ストーンヘンジを見てそれぞれが感じることは色々あると思いますが、その色々が正解なのではないでしょうか。例えば、私の見つけた答えはこうです。「広い長い人生の中で、どんなことがあっても、誰かに気付かれなくとも、自分というものを持って努力を重ねればいつか必ず報われるだろう。」あの石たちを見て、頭の中でストーンヘンジが完成されたその日からの時の流れを自分なりに想像しました。そこまで思うかと疑問を抱く人もいるかもしれませんが。でも私には、人生の在り方とストーンヘンジを見て思ったことが重なって思えました。それほど力が、ストーンヘンジにはありました。

私は一週間のうちに学べること以上のものを手に入れた気がします。自分の持っていた考え方や感じ方はほんの一部で、他の角度からものをみるということの重要性に気付くことが出来ました。この旅行で経験・体験したことを、これからの三年間に繋げていきたいと思えます。



★ 神の目 2年

★ 光り輝く蒼天の中、一つの穴から一本の光が差し込んでいた。その光は、神殿の内部を照らし、私の胸を刺すようにずっと入り込んだ。まさに「風光明媚」そのものだった。神秘的に美しさを生み出したと共に、恐ろしさも感じられた。

穴から見上げるローマの空は、どの景色よりも格別だった。何羽かの鳥が通り、小さく飛行機も見えた。ささやかに聞こえる外の音、円形に切り取られた自然と自分自身が不思議なくらいに一体化していった。その穴は、天気などによって表情を変えていき時間によって光は、少しずつ移動した。照らす場所、光の差し込む角度、空によって神殿を変化させていった。まるで神が操っているかのようだった。太陽に雲がかかると日光は遮られ神殿の中は、薄暗くなり、一層恐ろしさを際立たせていた。

その穴は、「oculus」と呼ばれ、ラテン語で「目」を指す。私は「神の目」を指すと感じた。天に通じる「目」は、神が地上を見下ろし、その「目」から様々な面貌をし、私たちに何か訴えているかのように思えたからだ。

その日私が見た「神の目」は、銀箔色で優しい光に包まれ、古代ローマの絵画、見るもの全てを輝かして見せた。一つ一つ意味が込められて描かれた絵画は、日光で照らされ生き生きとしていた。

一瞬で姿を変える「神の目」。もう一度大人になって訪れた時、私の「目」にどのように映りこみ、その日見た景色と、どう変化しているか確かめに戻ってきたいと思う。



★ 化け物 3年

★ この牡牛はファシズムを、馬は制圧された人民を表しています。そして真ん中に電気があるのは、電気が新しい戦争の始まりで、すべての原因だったからです。この絵は民主主義の象徴であり、ゲルニカで空爆にあった被災者の心の支えなのです。」

ガイドさんが丁寧に説明してくれたが、それは全部嘘だった。ピカソが言った通り、この絵には解説などいらない。ゲルニカとは見る人にとって一番心に引っかかるものに化ける恐ろしい化け物なのだ。

私のゲルニカは、悲しみと怒りと不安を集めた黒。色はなく、光もない。真っ白い部屋の私までを黒に飲み込もうとするその絵は、獲物を一発で仕留める猛獣のように感じられた。魔術を使う魔女みたいに、私を惑わせて黒に誘い込もうとしているようで、小学校の先生みたいにみんなと一緒にいってほしいと悲しみの集団主義を利用して私を黒に混ぜようとしているようだった。絵の中の牡牛はファシズムなんかではなく、私の不安そのもので、馬は私の焦り、女は悲しみ、倒れている男は苦痛だ。

隠していた不安や恐怖を探り当てられ動けなくなった私は、ゲルニカのこれまで吸収してきた悲しい黒を肯定するためのうるさくて自分勝手な主張にただ圧倒された。色のない世界の中に青い涙を思い浮かべ、この絵の中で泣いていたいと思った時にはもう飲み込まれていた。8m以上ある大きな体を自由に化けさせて私を責め立ててくる迫力が、自由を悩む私にとって恐怖でありながら魅力的で仕方がないのだ。何も言えない私とは真反対で、それが羨ましくなってしまう時、私も一緒に真っ黒に染まった。



★ 二度目のモノクロから学ぶ 三年

★ 人垣をかき分けそれが目の前に現れた時、戦争の色は何色だろうか？と疑問に思った。折れた剣を持つ兵士、屍を抱く女そして謎の光源。それは静寂に包まれる中で煌々と異彩を放っていたピカソのゲルニカだった。

その日は子供達が広場で遊び、大人たちは意気揚々と過ごしていた。いつもの日常だ。そこに突然、四十トンの爆弾が天から降り注いだ。トンネルは溶解し、通路には炎の門ができ、張りぼてとなった家からセメントと煉瓦が崩れ落ちる。無差別爆撃を受けたゲルニカの街だ。罪のない人々は絶望に浸り、現実とは思えない荒廃の中で苦しみながら無残に亡くなっただろう。彼らの日常は、ある日を境に儚く消えてしまう。今まで色鮮やかな世界を歩んでいたはずなのに、唐突に色を奪われる。

そこで私はふと、ドイツの強制収容所を思い出した。そこでも罪もない囚人たちが毎日何十時間もの労働を強いられ、深い絶望の中に幽閉されていた。収容所の囚人もゲルニカの人々も時代の荒波に色を奪われた被害者だと感じ、そして同時に私は戦争の色とは鮮やかさを失ったモノクロだと確信した。

今の私たちの未来には様々な色がある、輝きがある。それは幸せなことであり決して当たり前のことではない。様々な国で起こった悲惨な出来事は今もまた起こる可能性がある。過去の心痛い出来事を理解するのも重要だ。しかし、心に留めておくだけでなく、過去から学び、未来へつなげていく必要がある。そのことを思慮に重ねながら自分の歩を進めていきたいと感じた。

ミュージカル鑑賞 5月25日(金)

中間テスト終了後、全員でミュージカル Wicked を鑑賞しに行きました。Wicked は皆も知っている「オズの魔法使い」に繋がっていくお話です。英語は少し難しかったですが、舞台の華やかさ、パフォーマーの歌唱力、迫力のある音響に皆圧倒されました。一年生の中にはこれまでミュージカルを一度も観たことのないという生徒もいたようですが、これから帝京ロンドン学園で色々な体験をしていけると思っています。また2.3年生にとっても、いつもは Piccadilly Circus や Covent Garden 界隈にあるシアターですが、今回は普段行く機会のない Victoria 駅の近くでしたので、シアター前には近所を散策することも出来ました。12月には凝った衣装で有名なディズニーの Lion King を観に行く予定です。乞うご期待ください。(久保)



SIUK 進学相談会

5月25日(木)

大学進学を支援している SI-UK から担当者が来校し、中間考査最終日にイギリスの大学進学説明会を実施しました。約10名の生徒が参加し、説明会終了後の個別相談では熱心にメモを取りながら話を聞いていました。(清木)

水曜コース

Khalsa 校生徒 学園訪問 6月6日(水)

Lesley 先生のコースでは先月近所のシーク教徒の通う Khalsa 高校を訪問し、興味深い体験をしました。今回は6月6日に Khalsa 高校の生徒が本校に来校し、私の英国文化コースの生徒と一緒に折り紙と茶道を紹介しました。折り紙は見たことがあるが、実際折ったことがない生徒がほとんどで苦勞をして折り、手裏剣や花かごが出来たときは皆喚声を上げていました。また抹茶は見るのも飲むのも初めての生徒ばかりで、恐る恐る飲む姿がとても印象的でした。初めて日本人の高校を訪問し、日本文化を体験できたことは非常に楽しかったと、現地校生に言ってもらえた嬉しいひと時でした。今後も色々な学校と交流を続けていきたいものです。(久保)



Beechwood School 訪問 6月13日(水)

Lesley 先生の水曜コースは、学園から車で10分程にある Secondary School で、Year9 (13~14歳)の生徒達とスコーンを作ったり、クイズをしたりしながら、交流をしてきました。



Stoke Poges スカウトとの交流 6月7日(木)

Tonight, students from the International Cultural Exchange Committee took part in series of activities arranged by the local scout group. The 2nd and 3rd year students have met the scouts several times so it was a chance to catch up with old friends.

The students and the scouts had a chance to try abseiling and other challenging activities designed to build their confidence and teamwork skills. Some of the students were a little scared of the high places but everyone supported and encouraged each other. It was a great experience for everybody so thank you to the scouts for inviting us and we look forward to seeing them at Teikyoo School in the near future.

(Richard)



Weekend Homestay 6月8日(金)～10日(日)

今学期2回目の週末ホームステイに2年生3名が参加し、近隣の家庭や英会話の先生のご自宅にステイをしました。金曜日の夕食後から日曜日の夕食前までの日程で、親族が集まる食事会に参加したり、スーパーでの週末の買い物を手伝ったりしながら、楽しく過ごしてきたようです。

Ko2

I did a home stay with Genki on Saturday and Sunday. My host family use easy English so, I was relieved during this homestay. Genki spoke English very well. When he talked with the home stay family, I could hardly understand them! So, I am proud of him. I went to Camden Town and Black Park. Camden Town has many interesting goods and buildings. There are many shops. It was fantastic. I bought a T-shirt and food. I enjoyed this town.



Black Park was a big park. There was a lot of nature. There were many playgrounds and it seemed fun. Teikyo School is nearby so I can walk to get there. I want to go again. I met a nice host family so, I had nice weekend.

Ko2

I did a homestay for 3 days at Sabine's house. It was my third time at her house so I was used to it. They welcomed me warmly the same as usual.

On Saturday, Sabine and I went to a garden near Sabine's house until the Stoke Poges festival. Her children didn't go there because it's a boring place for them. However, I didn't think so. I could feel nature and spring. I didn't know there is a really good place near Teikyo School. I want to go there again with my friends.



After that, we went to the children's school festival. Yakitori was tasty, by the way!! I can't believe that they were selling alcohol in the school festival. British school festival was not just for children. Adults can enjoy it too! And then, we went to a restaurant with 4 other families. Actually, I don't like big crowds but I could talk to them a lot.

Stoke Poges Fete 参加 6月9日(土)

学園の隣村の Stoke Poges で行われる村祭りに、国際文化交流委員 16 名が参加しました。女子は浴衣を着て舞台の上で盆踊りを披露しました。その後男女で焼き鳥を焼いて販売したり、折り紙や書道のデモンストレーションをして作品を販売したりと忙しい一日でした。近所の小さな子供たちは色々な形の折り紙や、珍しい日本の文字に目を見張っていました。甘くて美味しい焼き鳥は大人気で開始から2時間であっという間に売り切れとなってしまいました。列を作っているお客さんを待たせながら、焼き鳥を焼く生徒たちは、熱くて本当に大変でしたがいい体験となりました。国際文化交流委員会の生徒たちは、このように一日コミュニティーに貢献し約 £ 155 を売り上げ、その収益金を全て Stoke Poges 村に寄付しました。



Well done!

(久保)



バスケットボール部練習試合 6月10日(日) VS 立教英国学院 6月16日(土) VS Aylesbury Dux

バスケットボール部は2週にわたり、週末に对外試合に出かけました。10日の相手は、初対戦となる立教英国学院で、普段日本人チームと試合をする機会のない我々にとっては、貴重な初めての日本人対決でした。また女子にとっては、初の对外試合ということで、移動のバスの中はいつもと違う緊張感が漂っていました。試合結果の方は、男女とも前半は競り合いながらも後半引き離されるといふ展開で、惜しくも両チームとも敗戦となってしまいました。男女とも技術というより、走り負けたという内容でしたので、次の勝利に向けフィジカル面を鍛えようと思います。試合後は、立教英国学院の生徒さん達と非常に仲良くなり、良い交流ができました。16日の試合は男子のみで、本校から車で1時間ほどのAylesburyにある、Aylesbury Duxとの試合でした。Duxは昨季 Buckinghamshire のリーグを無敗で優勝した強豪で、技術もしっかりしており、何よりも2m近い選手がいるなど大変高さのあるチームでした。結果は大差での敗戦となってしまいましたが、終盤に奮起し、2年の連続得点、190cm以上ある相手に対してリバウンドで負けなかった3年の活躍もあり、巻き返す時間帯があったことなど、収穫のある内容でした。今後は課題の部分をしっかり鍛え、2学期の試合に備えたいと思います。(山田)



水曜コース Portobello Market 見学 6月13日(水)

英国文化コースの生徒は6月13日にPortobello Marketに出かけてきました。今学期はロンドンにあるマーケットについて調べ学習し、生徒同士で自分のお気に入りのマーケットについて発表をしました。Camden Marketが一番人気でしたが、外出時間の都合により2番目に人気のあったPortobello Marketに出かけることにしました。この市場は以前「ノッティングヒルの恋人」のロケ地となった場所で、皆で事前にDVDを観賞し雰囲気を楽しみました。この日は平日だったので、出店の数が少なかったのですが、その分人出も少なかったため、ゆったりした時間が過ごせました。こういった経験を機に、自分たちでも週末を利用してロンドンの色々な場所を訪れてほしいと思います。(久保)



水曜コース Community Volunteer 毎週水曜日



Students have been doing voluntary work every Wednesday afternoon for the past few weeks. They are working at a variety of places in the local area such as the library and the charity shops and have been serving customers, stacking shelves and putting tags on clothes.

All the students' managers have praised the students for their hard work and I think they have learned a little bit about working life in the UK. (Richard)

1学期のサッカー部活動も残すところ4週間となりました。時間が経つのはあっという間で、高い目標をもっている生徒は毎日崖っぷちだと思って活動に取り組まなければいけないと、よく生徒に話をしています。先日、9月から始まる Buckinghamshire Schools Cup U-18 の抽選会に参加してきました。6チームグループの上位2チームが勝ち抜けとなりますが、十分に勝ち抜ける可能性があると思います。去年0-5で大敗を喫した John Hampden Grammar School も同じグループにいるので、リベンジできるよう頑張りたいと思います。(末弘)

サッカーコース・部



寮だより

男子寮より こちらは夜 10 時過ぎまで明るく学習時間後グラウンドでサッカーボールを蹴ったり、あるいは寮の中庭で友達と寛いでいる姿が見られます。まだ夏至前でまだまだ日が長くなります。英国の日の長い夏を十分に楽しんでいる様子です。研修旅行後は体調不良者もなく、みんな元気しております。もう数週間で夏休みになります。期末試験に向けて早くも遅くまで勉強している生徒が何人かいます。頑張ってください。(岩泉)

Evening Activity

地元の方々と趣味や特技を通して交流を図りながら、英語力を伸ばしていくことを目的に、地元の様々な活動に参加するイブニングアクティビティー。今学期は卓球(Stoke Poges)、ピラティス(Stoke Green)、キックボクシング(Hedgerley)、チェス、テニス(Gerrards Cross)、乗馬(Burnham)にそれぞれ生徒たちは出かけています。



毎週チェスクラブに通っている寮生(2年)は、日ごろの腕試しとして、Eton College で開かれたチェスの大会に参加し、見事3位に入賞し、トロフィーとメダルをいただきました。

女子寮より 6月16日に1学期の誕生日の女子寮生のための誕生日会を実施しました。寮委員は早くから準備に取り掛かり、誕生日会の最中も忙しく、たこ焼きをみんなのために焼いていました。寮委員お手製のケーキを食べ、誕生日会は終了しました。18名となった女子寮はなかなかみんなでの交流を持つことも難しいので、このような企画で親睦を深めてほしいと思います。体育祭が終わると期末考査が控えています。寮の方でも、自習時間の使い方などを確認し、しっかりと学習に取り組ませたいと思います。1学期も残り3週間ほどとなりましたが、体調を崩すことのないように、指導していきたいと思います。(清木)



(3年)



私はピラティスの機械コースを習いに、毎週火曜日に出かけています。ピラティスとは1920代にドイツ人のジョゼフ・ピラティスが創案した、筋力トレーニングと

ストレッチを組み合わせた運動で、ヨガに似ていると言われていますが、さらにきつい運動だと思います。レッスンの良いところは全て英語で聞き取ること、自分の体に合わせてやれることです。現地の人と交流できるのも一つの良さです。このアクティビティーをやってイギリス人と話すことに慣れたことや英語を聞き取る能力が上達したように思います。

寮企画 Thorpe Park 6月2日(土)

毎年恒例の THORPE PARK へ出かけました。期間限定のジェットコースターやお化け屋敷で悲鳴を上げ、暖かい時には急流ジェットコースターで水浸しになり、帰り際には大きなぬいぐるみを賭けてゲームにチャレンジと、1日中、遊園地を楽しみました。

(清木)

